

科目の目標

学校教育目標	知識・技能		思考・判断・表現		学びに向かう力・人間性等		
	理解力	生活力	分析力	表現力	関心力	受容力	向上力
科目で育成する 資質・能力	我が国の近現代史の展開を地理的条件や世界の歴史と関連付けて理解できる。	諸資料を利用して歴史的事項を主体的に調べ、現代の諸課題を解決できる。	既知のみならず、未知であっても、歴史的事柄に対して現代的思考ができる。	自らの思考内容を文章や発表等で適切に表現できる。	過去から何かを学ぼうとしている。	異なる意見に対し、それを否定せず、また、自己の意見を一方的に押し付けず、共生しようとする。	国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚を持ち、社会全体のために生涯学び続ける。
評価の観点 の趣旨	近現代史を中心とする我が国の歴史の展開についての諸資料を収集・選択でき、それらから基本的な事柄を世界史的現代的視野に立って理解し、知識としている。		我が国の近現代史から課題を見だし、世界史的視野に立ち国際環境などと関連付けて多面的多角的に考察するとともに、国際社会の変化を踏まえ公正に判断する。また、それを口頭や文章で適切に表現できる。		近現代史を中心とする我が国の歴史の展開に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追求するとともに、国民としての自覚と国際社会に主体的に生きる日本人としての責任を生涯にわたって果たそうとする。		
評価の方法	小テスト 5 回×4(授業の中で実施) 定期考査(予定) ワークプリント課題提出		小テスト 5 回×4(授業の中で実施) 定期考査(予定) 卓上式の書き写し 新聞課題		ノート提出 課題提出 授業に取り組む姿勢		

年間計画

単元	学習内容	配当時数	特に重視する資質・能力	評価の観点と規準
私たちの時代と歴史	現代の社会やその諸課題が歴史的に形成されたものであるという観点から、近現代の歴史的事象と現在の結びつきを考える活動を通して、歴史への関心を高め、歴史を学ぶ意義に気づかせる。	6	【関心力・受容力・向上力】 生徒に現在は過去から連続していることに気付き、その時間の大きな流れの中で自らが生きていて、さらに次世代に受け継ぐ日本社会の当事者であることを自覚し、主体的に歴史を学び続ける意欲を持つ。	【知識・思考・判断・表現】 現代の社会やその諸課題が歴史的に形成されたものであるという観点から、近現代の歴史的事象と現在の結びつきを考える活動を通して、歴史への関心を高め、歴史を学ぶ意義に気づいている。
近代の日本と世界	近代国家の形成と国際関係の推移 近代産業の発展と両大戦をめぐる国際情勢 近代の追究	54	【理解力・生活力・分析力】 我が国が近代化していく過程を資料等を用いて理解した上、開国から明治維新を経て近代国家が形成される過程や近代産業の発展と国民生活の変化、2つの世界大戦とその間の内外情勢の変化について考察する方法を身につけている。	【知識・思考・判断・表現】 我が国が近代化していく過程を資料等を用いて理解した上、開国から明治維新を経て近代国家が形成される過程や近代産業の発展と国民生活の変化、2つの世界大戦とその間の内外情勢の変化について考察し、自己の意見を表現する。
現代の日本と世界	現代日本の政治と国際社会 経済の発展と国民生活の変化 現代からの探究	26	【理解力・生活力・分析力】 第二次世界大戦敗戦後の我が国の再出発及びその後の政治や対外関係の推移、さらに日本経済の発展と国民生活の変化を考察する方法を身につけている。	【知識・思考・判断・表現】 第二次世界大戦敗戦後の我が国の再出発及びその後の政治や対外関係の推移、さらに日本経済の発展と国民生活の変化を考察し、さらに近現代史にかかわる身の回りの社会的事象から課題を見出して探究し、自己の意見を表現する。

備考

--